

令和5年度 GKP 広報大賞 エントリーシート

団体名 東京都	団体区分 (混成の場合は複数☑) <input checked="" type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 学校・NPO・個人等
取組名 下水道施設親子見学ツアーの開催	
責任者 (実際に広報に取り組んだチームの代表者) 氏 名：瀬戸 かすみ 所 属：下水道局総務部広報サービス課 電 話：03-5320-6515 E-mail：S4000009@section.metro.tokyo.jp	
担当チームの構成 (外部人材を活用している場合や外部委託をしている場合等は、その旨記載して下さい) 企画・運営：都職員 (広報サービス課1名)・委託会社 協力：小平市ふれあい下水道館、東京都虹の下水道館、有明水再生センター	
取組のポイント (一言でいうとどういう取組かを、箇条書き等で記載して下さい) <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの期間に親子で楽しみながら下水道の役割や水環境を学ぶ下水道施設親子見学ツアー (参加費無料) ・8月の土日に2回実施 ・合計参加者数：55組 112名 	
アピールポイント <ul style="list-style-type: none"> ・ツアー当日は、都内の小学校を対象に実施している「でまえ授業」のキャストである「下水道局のお姉さん」と「小学4年生の翔太」の2名がバスガイドを務め、移動中にバスガイドの掛け合いやクイズ大会を行うなど子供たちが飽きないような工夫をした。 ・子供たちが夏休みの自由研究で下水道について学んだことを取り上げていただけるよう、参加者全員に「オリジナル学習冊子」などを配布し、子供たちが各見学先で一生懸命メモを取る姿が見られた。 ・8月に実施することで、参加したツアーの内容を夏休みの自由研究や、東京都下水道局が主催している「小学生下水道研究レポートコンクール」にも活用できるようにした。 ・応募方法を郵送 (往復はがき) から、webサイトの申し込みフォームを設置し、電子上で完結するように変更したことで、応募者への連絡が迅速になった。 ・東京都の施設だけでなく、市が所有する下水道広報施設 (小平市ふれあい下水道館) と連携しPRした。 ・運営一式 (応募受付、連絡調整、当日の運営等) を委託したことで、職員の負担を大きく軽減した。 	
要したコスト 総額 300万円 (内訳：人件費 100万円、貸切バス代 200万円)	

ウラ面に続きます

取組の概要（適宜、写真や図等を挿入して下さい。複数年度にわたる取組の場合は、その旨記載して下さい）

以下の流れでツアーを実施。

◆小平市ふれあい下水道館 本物の下水道管の中に入る！

下水道の役割や仕組み、歴史などを分かりやすく映像システムやパネルで展示しています。ここでは建物の地下 25 メートルにある下水道管の中に実際に入り、水の流れや下水の色やにおいなどを体験できます。館のスタッフさんによると、ツアー当日は、レベル「中」くらいの臭いだったそうです。ほとんどの参加者が、30 秒くらいで管から出てきました



◆有明水再生センター 汚水がキレイになる仕組みを知る！

有明水再生センターでは、水環境案内人による水処理施設見学を実施しました。家庭や工場から出た汚水が、処理が進むにつれ、きれいになっていく様子や、臭いがなくなっていくことについて、非常に感心していました。微生物の力で水をきれいにしていることを知ると「すごい！」と驚く子供もいました。皆さん、一生懸命メモを取り、楽しく見学していました



◆東京都虹の下水道館 下水道ってすごい！おもしろい！ありがたい！

虹の下水道館は、普段入ることのできない下水道管やポンプ所、水再生センターを再現した「見える下水道のまち」を舞台に下水道の役割や水環境の大切さを学べる体験型施設です。子どもたちには「お仕事体験」として、水質検査室での顕微鏡を使った微生物観察や、中央監視室でのポンプ操作をしていただきました。微生物の解説や、ゲーム感覚で学べるポンプ操作体験に、参加者は和気あいあいと楽しんでいる様子でした。



最後に、お台場海浜公園から浅草までの間を水上バスで移動し、隅田川の美しさをご覧いただきました。隅田川とともに、東京スカイツリーなど周辺の景色を楽しんでいました。浅草の下船地では、翔太くんとお姉さんによるお見送りで参加者とお別れしました。



成果（数字を交えるなど、できるだけ具体的に記載して下さい）

- ・当局の HP（下水道教育特設サイト）、X（旧 Twitter）、小学 4 年生を対象に実施している「でまえ授業」内での紹介等で PR した結果、定員 120 名のところ、約 1,400 人もの応募（当選倍率 12 倍）があった。
- ・参加者アンケートより、子供：「とても面白かった」、「面白かった」合わせて 100%であった。また、大人：「とてもよかった」が 85%を占め、「よかった」の回答を含め合計 100%の評価を得ることができた。

また、自由意見では「微生物を探すのが楽しかった」、「汚かった水があんなにきれいになるんだと思った」に加えて、「今日から油は拭こうと思った」といった、環境を守るために自分たちでできることを考えるという意識づけもすることができた。